



甲佐町の夜空を染める「上益城最大の花火大会」



今年から始まった「熊本くも合戦」元々の場所に返さした

落ちたら負けよ！

甲佐町 商工会だより

発行所 甲佐町商工会
 責任者 田中武敏
 印刷 (有)スタアテック
 熊本市白山1丁目5-12
 TEL.096-372-6336
 会員数 320名

第43回 通常総会開催さる

去る五月二十七日(火)午後一時三十分より、甲佐町総会福祉センター「鮎縁」に於て、甲佐町商工会の第四十三回通常総会が開催されました。

総会は、出席者数百七十一名(委任状出席者含む)で行われ、田中会長挨拶の後、従業員永年勤続表彰、来賓祝辞に引き続き議長に選出された中村幸男氏の進行により、上程された一〇十号の議案審議が行われました。

今年度は特に商工会役員改選をはじめ、町村合併という重大な問題を抱え、商工会として直面している購買力対策、価格破壊対策、後継者対策、商店街活性化対策、商工会財源対策等々の諸問題に積極的に取り組む一方で、創業や経営革新等の新しいニーズに添った事業活動も併せて推進していかねばならない重要な年の総会でありましたが、本年度の振興発展を祈念し、午後三時五十分全議案審議が無事終了しました。

町会員編成 佐工役編成 甲商新部

会長	武敏 重昭
副会長	久利 和代
理事長	北野 久利
副理事長	河内 杉本
事務局長	田中 武敏
事務副局長	河内 重昭
総務委員長	田中 武敏
総務委員	河内 重昭
副委員長	北野 久利
副委員	
委員	
副委員	

情報広報部会

部長	徳 雅太郎
副部長	岩崎 啓三
部長	岩崎 啓三
副部長	大西 和
部長	池田 陽介
副部長	土田 光輝
部長	赤崎 麻利子
副部長	

研修部会

部長	山 雅則
副部長	尾村 明徳
部長	尾村 明徳
副部長	井藤 晴雄
部長	伊豆野 弘見
副部長	光永 力三
部長	甲斐 征夫
副部長	岩村 明徳
部長	高濱 宇生
副部長	井藤 晴雄
部長	光永 力三
副部長	西村 祐一
部長	豊永 康宏
副部長	米村 征一郎

観光振興部会

部長	收 生利
副部長	宇久 山
部長	宇久 山
副部長	藤 征夫
部長	尾村 明徳
副部長	伊豆野 弘見
部長	井藤 晴雄
副部長	前田 孝昭
部長	園田 裕二
副部長	土田 光輝
部長	赤崎 麻利子
副部長	



永年勤続表彰の皆さん



真剣に傍聴される会員の皆様方



主催者挨拶の田中商工会会長

第53回

あゆまつり開催される

今年も甲佐町恒例の「あゆ祭り」が7月24日、25日の両日にわたり盛大に開催されました。特に「造り物」において、伝統ある文化を後世に伝える為、人材育成基金による支援が図られ、例年になく力作が目立ち、行き通う人々の目を楽しませてくれました。



「造り物」優勝の「水車で街づくりを」 ホタル会の作品



「鮎の放流」



商工会女性部の皆さん



盆踊り大会参加 20チーム(930名)

元気一杯の「子供梅みこし」



第三位の「大井手河童の鮎釣り」 古田組の作品



1200匹のアユが放たれた「アユの掴み取り大会」



はやく 大きくなーれ



「和太鼓」



優勝の「甲佐大橋賞」受賞の岩下一区親子会チーム



「今女性にできることは」
 上益城商工会女性部合同講演会
 去る六月十日(火)若手後継者育成事業の一環として、上益城商工会女性部合同講演会が甲佐町商工会及び「やな場」に於て、御船、嘉島、益城、甲佐、四町の女性部代表が一同に会して開かれました。

この講演会において、地域の活性化の手がかりを女性の観点から模索し、女性にできる町おこしの第一歩を踏み出すことを目的として行われるもので、今回は、町議会本田議長、環境衛生課境係長のお骨折りで、阿蘇黒川の「有」戸無しのそば屋「隠れ里」のそば処山川草木店の代表取締役、小笹原和男氏に来ていただき、「少しの工夫で大きな満足」を、女性に出来ることは、と題して講演をいただきました。

「バカが三人いる町は変わります。いい物を、最高の物をうんと儲けて売って下さい。」バカが三人?〇〇と〇〇と……。私利私欲を捨てて本気で取り組めば甲佐の町は……。

本年度から甲佐町商工会は、鮎のやな場を後援することに成り、町商工会を上げて「やな場」を中心とした町おこしを考えています。やな場周辺には「心安らく公園」とその公園から商店街の中へ続く大井手川沿いに「遊歩道」を整備、初夏の緑と風のなか甲佐町の取り組みを紹介しています。

そんな中、私達女性としてやれることから町おこしに協力していきたいと思っています。機会ある毎に、ご講演をいただき、いい形で甲佐の町を後世に残していけたらと思います。

今年こそは優勝旗を！

第二十四回熊本県商工会女性部連合会ミニバレーボール大会が、七月十八日(金)益城町総合体育館に七十数チームが集まって開催されました。

我が甲佐町商工会女性部も新しく作ったピカピカの女性部のまっ赤なTシャツを身にまとい、若手と〇〇と二チーム、「今日は帰ったら町内一周パレードね」と意気揚々と出かけた。

試合は、十五分まで何点採れるかで、熱戦が繰り広げられ、我が甲佐町女性部は準決勝に残ることなく一回戦で惜しくも敗退してしまいました。が、皆んなが心をひとつにして戦ったこと、和気あいあい楽しくゲーム出来たこと、いい汗を流すことが出来ました。

これはまさに日頃の練習の成果だと、来年のミニバレー大会にむけて、さっそく練習開始、八月から毎週水曜日午後八時、甲佐小学校の体育館に集合です。

来年の今日は、優勝旗を手に町内一周パレードです。



地域づくり研修会 於 長崎県有明町文化会館 平成15年7月6日(日)

「地域づくり団体 連合会先進地視察に参加して」 女性部

去る七月六日(日)地域づくり研修会は、長崎県有明町「有明童話の会くすのき」の皆さんを訪問し、地域で育てる子どもたちと語りテーマの意見交換会に参加しました。

それは、地域の子供達に図書館に於て、童話の読み聞かせや、昔話の語り伝えを教えることでした。早速、私達も聞かせて頂きましたが、やさしいお母さんの語り、六十のおばあさんも時間を忘れて子供時代のなつかしい記憶にひたり、我を忘れて目頭があつくなり、ひとしずくの涙を止めることが出来ませんでした。

「地域づくり」にもこんなにソフトな、心の地域づくりがあったのかを痛感致しました。

普賢岳災害記念館では、普賢岳爆発時のリアルなビデオを円形巨大スクリーンに映し出し、地鳴、地震、土砂流をあびる体験には、思わず身体がすくんでしまいました。

「地域づくり」は誰れにでも出来る簡単なものから初めたら、私達にも何か手伝いが出来るような気持ちで帰路に着きました。



※おすすめメニュー
 (鮎のフルコース)
 ¥3,500円

- ☆鮎の塩焼き
- ☆鮎の味噌焼き
- ☆鮎の刺身
- ☆うるか
- ☆鮎の南蛮漬け
- ☆鮎めし(佃の物付)
- ☆鮎の取っ物
- ☆わんこソーメン



甲佐町の名所 あゆ料理 「やな場」のやな開き

甲佐町の築は、寛永10年5月当時の肥後藩主、細川忠利侯が領内巡視の折、鶏の瀬堰下手、水門の砂溜りにいる魚鮮に目を止められ、その魚を捕る方法はないかと尋ねられました。案内役の田上次郎左衛門盛重が築という漁獲の設備を説明したところ、直ちに作るように命じ、同年8月に完成致しました。

以後、代々の藩主が、毎年「甲佐御業」にご来遊され、その結果、甲佐の築の名前は県下はもとより広く知れわたり今日に至っております。

このように由緒ある甲佐町の築場は、全国的に珍しく貴重な文化的遺産であり、甲佐町自慢の名所であります。また築場は2年にわたり周辺の駐車場やトイレ、調理場などが改装され、鮎の解禁と同時に待望のやな開き(6月7日)が盛大に行われ、多くのお客様で賑わいました。

町の大事な観光資源「やな場」が、今後益々繁栄するよう心からお祈り致します。

やな場の営業は次のとおりです。
 ※営業期間 6月1日~11月4日
 ※営業時間 午前11時~午後8時30分
 ※定休日 毎月第1、第3水曜日
 ※連絡先 上益城郡甲佐町豊内
 あゆ料理「やな場」
 ☎096-234-0125
 (TEL:305)FAX:234-0599

伝言板 告知

おいでまつり

今年第3回目を迎えます。おいでまつりが8月15日(金)、甲南橋付近をメイン会場に午後五時より開催致します。楽しいステージやビアガーデンもございますので皆さんふるって遊びに来て下さいませ。なお雨天の場合は中止とさせていただきます。

消費税の申告は?

基準期間(H15)における課税売上高が1,000万円を超えますとH17年分は課税事業者(消費税の申告が必要)になります。申告期限はH18年3月31日まで

どっちかな?

H15	H16	H17	H15	H16	H17
課税売上高 1,000万円 超		消費税の申告 が必要	課税売上高 1,000万円 以下		消費税の申告 は不要

(例) H17年分の課税売上高が800万円の小売業の場合は76,100円の消費税になります

(例) 簡易課税を選択した場合

私のひとり事

我が店は先代の後を継いで20年、高度成長の波に乗り、バブル時代には右肩上がりに売上が上昇していった。

しかし、日本経済がデフレスパイラルといわれているここ数年、下降低迷を繰り返しており、特に今年は悪い。

どうにかしなければと思うけど、なかなか対策が見当たらない。

いま、商店街の町並みが消え、あちらに空き地、空店舗が目立ち、町通りを行き交う人もまばらな寂しい町となりつつあります。

後継者のいない店もある。

我が家には後継者がいる。嬉しい反面、不安も隠せない。

昔は品物がなかった時代で何でも売れていた。しかし、今は商品が溢れている。

難しい時代になったと、つくづく思う。

これから10年後、20年後、この商店街はどのように変わっているのだろうか。



部長 土田 光輝



副部長 米村 宙



副部長 田上慎太郎

青年部 新役員紹介



地区委員長 堀田 高志



書記 甲斐 良二

造り物コンテスト



今年も、7月の24、25日に開催されたあゆ祭りに向け、青年部におきましては、毎年恒例の造り物コンテストに参加すべく、7月14日より準備にとりかかりました。青年部、それから多くの賛助会員の方々の助けもあり、無事完成させることができました。まあ、皆が納得いくような出来だったかは、分かりませんが、青年部のみなさん、またご協力頂いた方々、本当にお疲れ様でした。来年は上位入賞めざしてがんばりましょう。